

	対象	治験略称	治験段階	実施方法	選択基準（抜粋）
卵巣癌	III期初回 腫瘍減量完全切除術後 一次治療後の維持療法	NIRVANA-1	第II相	1:1に無作為化 ・ Niraparib + Bevacizumab ・ Niraparib	・ 手術 肉眼的残存腫瘍なし ・ 高異型度漿液性/類内膜癌(G2/3)あるいは BRCAmut ・ HRDtestでBRCAステータス検査
	進行 一次治療後の維持療法	GALAXY-OV症例に対する 維持療法	第II相	1:1に無作為化 ・ Niraparib + Bevacizumab ・ Niraparib	・ III/IV期IDS後ctDNA陽性（GALAXY-OV）
	進行 一次治療後の維持療法	DESTINY-ovarian01	第III相	・ Trastuzumab Deruxtecan （注射剤：抗HER2抗体薬物複合体） + Beverizumab	・ III/IV期 TC+Beverizumab（TC4サイクル以 上）治療中 ・ Beverizumab維持療法を予定している ・ HRP（あるいはBRCAwt HRD） ・ HER2 IHC 1+以上
	初回プラチナ感受性再発	Trofuse-022	第III相	化学療法±Beverizumab6サイクル後に無作為化 ・ Sacituzumab Tirumotecan (MK-2870) （注射剤：抗TROP-2 抗体薬物複合体） + Beverizumab 維持療法 ・ Beverizumab維持療法 or 経過観察	・ 粘液性癌以外 ・ 再発腫瘍切除術可 ・ 化学療法は原則6サイクル
	プラチナ抵抗性再発	RAINFOL-02	第III相	1:1に無作為化 ・ Rinatabart Sesutecan （注射剤：抗FRα抗体薬物複合体） ・ 医師選択化学療法	・ 4ライン以内 ・ 高異型度漿液性/類内膜 ・ RECIST測定可能病変あり
	プラチナ抵抗性再発	RAINFOL-01	第II相	・ Rinatabart Sesutecan （注射剤：抗FRα抗体薬物複合体）	・ 4ライン以内 ・ 高異型度漿液性/類内膜 ・ RECIST測定可能病変あり
	プラチナ抵抗性再発	CDK2阻害薬の第II相試験	第II相	・ INCB123667 （経口：CDK2阻害薬）	・ 4ライン以内 ・ 高異型度漿液性癌 ・ Cyclin E1発現およびFRA陰性 ・ 測定可能病変1か所以上
	再発明細胞癌	DOVE	第II相	1:1:1に無作為化 A群: Dostarlimab （注射剤：抗PD-1抗体） B群: Dostarlimab +ペバシズマブ C群: 医師選択治療 A, Cは増悪時にクロスオーバー可	・ プラチナ含有の全身療法後12か月未満の再発明 細胞癌（5ライン以内） ・ WT1陰性
	プラチナ抵抗性・不応性	M25-760	第I相	・ ABBV-901 （注射剤：抗FRα抗体薬物複合体）	・ プラチナ製剤治療後増悪(5ライン以内,抵抗性で 2ライン以内) ・ 高異型度漿液性癌 ・ 測定可能病変不問
プラチナ抵抗性再発	FONTANA	第I/IIa相	・ AZD5335 （注射剤：抗FRα抗体薬物複合体）	・ high-grade プラチナ抵抗性再発(3ライン以内) ・ FRα-陰性 (IHC25%以下) のみ ・ 測定可能病変1か所以上	

	対象	治験略称	治験段階	実施方法	選択基準（抜粋）
子宮体癌	術後補助療法	DESTINY-Endometrial02	第III相	1:1に無作為化 ・ Trastuzumab Deruxtecan (T-DXd) (注射剤：抗HER2抗体薬物複合体) ・ TC	・ 全身化学療法未 ・ HER2 IHC 2+以上
	進行/再発 一次治療	TroFuse-033	第III相	1:1に無作為化 TC+Pembrolizumab後 ・ Pembrolizumab + Sacituzumab Tirumotecan (MK-2870) (注射剤：抗TROP-2抗体薬物複合体) ・ Pembrolizumab	・ 全身化学療法未 (Neoadjuvant, Adjuvantは許容) ・ pMMR ・ Stage III 測定可能、Stage IV/再発で測定/評価可能病変あり
	進行/再発 一次治療	DESTINY-Endometrial01	第III相	1:1:1に無作為化 ・ A群: Trastuzumab Deruxtecan (T-DXd) (注射剤：抗HER2抗体薬物複合体) + Rilvegostomig (注射剤：抗PD-1、TIGIT二重特異性抗体) ・ B群: T-DXd + Pembrolizumab ・ C群:TC+Pembrolizumab	・ 全身化学療法未 (Neoadjuvant, Adjuvant後6か月以降は許容) ・ pMMR ・ HER2 IHC 2+以上 ・ Stage III 測定可能、Stage IV/再発で測定/評価可能病変あり
	再発 二次治療	BLUESTAR-Endometrial01	第III相	1:1に無作為化 ・ AZD8205 (P-Sam) (注射剤：抗B7-H4抗体薬物複合体) ・ 医師選択治療	・ 癌肉腫含む ・ 全身化学療法（プラチナ含む）および免疫治療増悪後（2ラインまで） ・ 測定可能病変 ・ B7-H4陽性のみ（プレスクリーニング可）
	再発 二次治療	RAINFOL-03	第III相	1:1に無作為化 ・ Rinatabart Sesutecan (注射剤：抗FRα抗体薬物複合体) ・ 医師選択化学療法	・ 癌肉腫除外 ・ 全身化学療法（プラチナ含む）および免疫治療増悪後 ・ 測定可能病変 ・ 既往3ラインまで
	再発 二次治療	BLUESTAR	第IIa相	・ AZD8205 (P-Sam) (注射剤：抗B7-H4抗体薬物複合体)	・ 全身化学療法後増悪（既往2ラインまで） ・ Neoadjuvant, Adjuvantは6か月未満の再発のみ ・ B7-H4陽性のみ

	対象	治験略称	治験段階	実施方法	選択基準（抜粋）
子宮頸癌	高リスク局所進行 CCRT後維持療法	eVOLVE Cervical	第III相	CCRT後 1:1に無作為化 ・ Volrustomig (注射剤：抗PD-L1, CTLA-4二重特異性抗体) ・ Placebo	(FIGO2018) III, IVA期, 傍大動脈リンパ節転移も可 ・ 扁平上皮癌, 腺癌及び腺扁平上皮癌 ・ 毒性Grade2未満

多癌腫

プラチナ抵抗性再発卵巣癌 ・ 再発子宮体癌	ZW191 第I相試験	第I相	・ ZW191 (注射剤：抗FRα抗体薬物複合体)	・ プラチナ抵抗性再発卵巣癌 ・ 子宮体癌：化学療法・免疫チェックポイント阻害剤後の増悪
卵巣癌・子宮体癌	GSK5733584：B7-H4標的ADCの治験	第I/II相	・ GSK5733584 (注射剤：抗B7-H4抗体薬物複合体)	・ 1b:子宮体癌は化学療法・免疫チェックポイント阻害剤後の増悪（3ライン以内） 1b:卵巣癌はHigh Gradeのみ、プラチナ抵抗性3ライン以内
				(2026年1月6日作成)